

くすりのしおり

620008654

2008年12月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：テルギン G 錠 1mg

主成分：クレマスチンフマル酸塩（Clemastine fumarate）

剤形：白色の錠剤 直径 7.0mm、厚さ 2.3mm

シート記載：表 テルギン G、1mg、TTS-110

裏 TELGIN G、1mg、テルギン G

**この薬の作用と効果について**

アレルギーの原因となるヒスタミンがH₁受容体に結合して作用を発揮するのを抑えること（抗ヒスタミン作用）により、アレルギー症状をやわらげます。

通常、じんま疹、湿疹、皮膚炎などのアレルギー性皮膚疾患、アレルギー性鼻炎の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。緑内障、前立腺肥大、排尿障害、狭窄性消化性潰瘍、幽門十二指腸閉塞、てんかんなどの痙れん性疾患がある。
- ・ 妊娠または授乳中
- ・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・ **あなたの用法・用量は**◀ ：医療担当者記入▶
- ・ 通常、成人は1回1錠（クレマスチンとして1mg）を1日2回朝夕に服用しますが、年齢、症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・ 飲み忘れた場合は気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次の通常飲む時間が5時間以内の場合は、忘れた分は飲まないで1回分を飛ばしてください。2回分を一度に飲んではいけません。
- ・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・ 眠気があらわれることがありますので、車の運転や危険を伴う機械の操作などは行わないでください。
- ・ 眠気などが強くなることがありますので、飲酒はなるべく避けてください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、眠気、けん怠感、吐き気、嘔吐、口渇、食欲不振、発疹などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・ けいれん（筋肉が発作的に収縮する）が起こる [痙攣]
- ・ 物事に集中できない、落ち着きがなくなる、眠れない [興奮]
- ・ 食欲がない、体がだるい、皮膚や白目が黄色くなる [肝機能障害、黄疸]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法その他

- ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄 年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。